

各医療機関
新生児医療責任者 殿

日本小児科学会新生児委員会
委員長 飛弾 麻里子
担当理事 水野克己、森岡一朗

2022年出生児を対象としたハイリスク新生児医療全国調査のお願い

拝啓 時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。

日本小児科学会（以下、本学会）新生児委員会では、わが国の主要施設におけるハイリスク新生児医療について1990年以後5年に一度ずつ調査を実施しております。その結果、わが国の新生児医療のレベルが世界にも誇れる内容であることがわかっております。また、調査結果は新生児医療体制の整備にも大きく寄与しております。今回もこの調査を実施することが、本学会理事会で決定されました。

つきましては、調査に当たり先生のご協力をお願いし、以下に概要を記した上で、心からお願い申し上げます。なお、調査結果につきましては委員会報告として本学会ホームページ及び学会誌にて公開、ならびに国内外の学術論文誌へ投稿する予定ですので、この点につきましてもご了承の程お願い申し上げます（施設ごとの結果を公表することはありません）。任意の調査ですので、未回答の場合も不利益は生じません。ご回答に際し、1症例あたり10分程度の時間を要します。

本研究の資金は「こども家庭科学研究費補助金等成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業 ドナーミルクを必要とする児に普及するために必要なエビデンスを構築するための研究」（研究代表者：水野克己）により賄われます。

本研究は本学会倫理委員会の倫理審査を受けておりますが、中央一括審査にはなっておりませんので、各施設での倫理審査の必要性については貴施設の担当部署にご確認ください。また、本研究は後方視的観察研究ですので、「対象となる患者の一人ずつから直接同意を得る必要はありません」が、研究の目的を含めて、研究の実施についての情報を公開し、さらに拒否の機会を保障することが必要とされております（オプトアウト）。当該研究について情報を対象者等に直接通知するか、または貴施設・貴院の掲示板やホームページ上で公開し、拒否の意思表示を受け付ける窓口（連絡先）を明示するようお願いいたします。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、本研究へのご協力を賜れますようお願い申し上げます。

敬具

<実施計画>

- 1) 調査対象：
 1. 全国の産科小児科双方を有する100床以上の病院
 2. 小児医療施設（小児病院など）
 3. 母子周産期医療センター
- 2) 調査項目：
 - A. 各施設のハイリスク新生児医療体制（2022年1月時点）
 - B. 各施設の栄養管理の方針（2022年1月時点）
 - C. 出生体重児の体重別・在胎期間別入院数と死亡数（2022年入院例）
 - D. 超低出生体重児全症例の転帰と死因および合併症（2022年入院例）

調査の流れについて

- ① 本依頼状が届きましたらお手数ですが、**受け取った旨のメールを本学会事務局（jps-pmed@jpeds.or.jp）までご送信ください。**
- ② 調査項目A～Cへの回答はwebアンケート(survey monkey)を利用します。
次のURL（<https://jp.surveymonkey.com/r/HDL5PVN>）か、次のQRコードをスマートフォン、タブレットで読み込み、調査項目の入力をお願いいたします。（締め切り：令和6年3月31日）
研究計画書、オプトアウト用文書、調査項目等は本学会ホームページ（https://www.jpeds.or.jp/modules/activity/index.php?content_id=541）からご確認ください。
- ③ 調査項目Dへの回答は**本学会ホームページ（https://www.jpeds.or.jp/modules/activity/index.php?content_id=541）から登録用Excelファイルをダウンロードして頂き、データを入力後にパスワードを付けた状態でExcelファイルを本学会事務局（jps-pmed@jpeds.or.jp）にメールでご返送ください。**該当する症例がない場合はご回答は不要です。（締め切り：令和6年4月30日）
- ④ アンケートに未回答の施設に対しては、本学会事務局もしくは本学会新生児委員会からリマインドのご連絡をさせていただく場合がございます。



<本件の問合せ先>

日本小児科学会事務局 新生児委員会担当
Tel: 03-3818-0091 Fax: 03-3816-6036
E-mail: jps-pmed@jpeds.or.jp